



第 56 回

地域おこし協力隊が行く！

実は隣のスゴイ人

曾於市内のスゴイ人にスゴイ人を紹介してもらうこのコーナー。前回のスゴイ人、ロバートさんにご紹介いただいたこの方は、「笑顔を曾於市に運んでくれる、エネルギーで誠実に溢れた新そお市レディーなスゴイ人」とのこと。インタビューは栞志帆でお届けします。

【今回のスゴイ人】
そお市レディー
櫻木 結衣さん



今回は、4月より（一社）曾於市観光協会のおお市レディーに就任された櫻木結衣さんにお話を伺ってきました。

財部町ご出身で小学4年生から陸上を始めた櫻木さん。

「お父さんが県下一周駅伝を走っていて兄や姉も陸上をしていたので自然と始めてました」高校は陸上と簿記や経理の勉強が好きだったため都城商業高校へ進学。

「高校では九州大会までしかいけなかったですが、宮崎銀行から声をかけてもらって、女子陸上部の創部メンバーとして就職しました」そこから宮崎・延岡を拠点に陸上部員として約4年活動を続け引退。13年間続けた陸上にピリオドを打ちました。

一方で、もともとゲストハウスに泊まり、同じ宿の宿泊者と交流するのが好きだった櫻木さん。「ゲストハウスで海外の方と話したのに話せないのが悔しくて、英語が話せたらもっと仲良くできるのと思うようになりました」

それからオーストラリアのメルボルンへ留学。8カ月間の留学を通して英語だけでなく生き方や考え方の気づきもあったといいます。

「日本人は自分がしたくても、人からどう見られるのが先に来て委縮してしまいがちだけど、メルボルンで色々な国の人や様々な考え方の人と出会い、自分がやりたいことはやればいいんだ、自分らしく楽しく生きようと思えるようになりました」

留学したことで国内への考え方も変わり、より地元が好きになったという櫻木さん。帰国後は曾於市役所の非常勤職員のお仕事をやる中で、そお市レディーの存在を知り曾於市の魅力を伝えられるびったりな仕事だと思ったそう。

「派手な都会じゃないけど安らげる地元があることは素敵なことなんです。これから地元を離れる若者だけではなく地元に残った若者に伝えていけたらと思います」と地元愛を熱く話してくれました。

実は隣のスゴイ人




▶インタビューを終えて

おらかな雰囲気の中に芯のある思い、色々な経験をされた櫻木さんのお話に引き込まれました。曾於市の魅力を伝えるこれからのそお市レディーでの活躍にも注目です。



協力隊の今日この頃

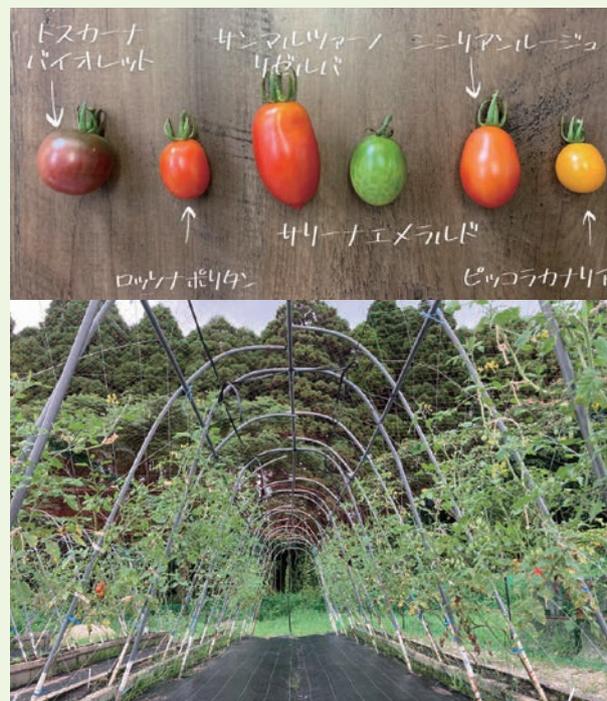
お久しぶりです。地域おこし協力隊の柵です。6月より二年目のスタートとなり気持ち新たに進んでいます。

昨年より考えていたトマトのソバーージュ栽培が徐々に形となってきました。「子供から大人まで楽しめるトマトの森を作りたい」と始めたTOMALAND(トマランド)ですが、少人数での親子農業体験などのお手伝いを貰いながらやっと実をつけ

（柵）

るまでになりました。緑のトンネルをくぐりながら色も味も異なった6品種のトマトを食べられるまでもう少しかかりそうですが、興味のある方は見学などお待ちしております（笑）

またTOMALANDが出来るまでのあれこれやトマトの森が出来る際の収穫祭などの情報はインスタグラムで配信していますのでチェックをお願いします。



TOMALANDの
インスタグラムは
こちらから！

